

この山に登ろう②⑦

戦国時代の山城跡と山頂からの眺望を楽しむ

そばがじょう
曾場ヶ城山 (大山)

607.2 m

東広島市八本松町原



八本松駅方面から見た曾場ヶ城山

広島登山研究所 代表 松島 宏

曾場ヶ城山は人気の里山です。JR八本松駅から登れ、頂上からの西条盆地や周囲の眺望が素晴らしいのです。山城跡があり、石仏にも出会うことができます。2～3時間で一周できます。人気の理由は沢山あります。

今回は八本松駅から七ツ池経由の尾根ルートを通り、旧山陽道の大山峠を経て一周するコースを紹介します。山城跡は山口県周防の大内氏の居城で、吉田（安芸高田市）方面から西条盆地への出入りを見張ったといわれています。北の原方面からは大山と呼ばれ、南の西条盆地側からは曾場ヶ城山と呼ばれています。

八本松駅から南側の国道486号（旧2号線）を渡り、県道67号を南に約1km行きます。西条バイパスの下をくぐると右手に小倉林道の入口があります（写真1）。曾場ヶ城（大山城）登山道入口と書かれた古い看板が目印です。

林道を250m入ると登山口の道標があり、登山道が右手に入っていきます（写真2）。登山口から30m先に自家用車が数台止められるスペースがあります。登山道を進むと沢を渡り、小さな尾根に出ます。この尾根の末端は八本松小学校です。尾根を進むとやがて開けた場所に大岩があり、戦没者供養塔があり



斜線は磁北線 東西約500m間隔 長さ約1kmに設定



写真1: 小倉林道入口



写真2: 登山口



写真3: 戦没者供養塔からの眺め

ます（写真3）。さらに尾根を進むと標高510mで三の丸跡の標識があります。やがて午の段跡、建物の礎石が見受けられます。

石仏を経て標高560mピークが二の丸跡です。西に向かい一旦降りて、矢竹のトンネル（写真4）をくぐり抜けると標高577mの本丸跡です。いずれのピークも眺望が素晴らしく、素敵な場所です。本丸から頂上へ向う道沿いに石積みがあり、山城跡の歴史を感じさせられます。不思議な感じです。戦国時代にタイムスリップして城を見たいと思いました。

最低鞍部から標高差60m登ると曾場ヶ城山の山頂607mです。標識には一ツ城跡と書かれています。頂上からは南に西条盆地、野呂山、灰ヶ峰、小田山が間近に見えます（写真5）。北には遠く白木山や鷹巣山等が見渡せます。ベンチやテーブルもあり快適です。何よりも360度の眺望が素晴らしく、南西には広島湾が見えています。登ってきてよかったなあと思わせるピークです。標高の低い里山にもこんなに魅力的な山があることに驚かされます。地元の方から「いい山ですよ!」とは聞いていましたが、本当にいい山です。

さて頂上から北西に尾根を辿り大山峠を目

指します。頂上から左に下りれば水ヶ丸山、小倉神社、右に下りれば大山峠の標識に従います。ロープの設置してある岩場があったりしますが、特に危険なことはありません。林道に出て、アンテナのある459mのピークを下ればほどなく大山峠です。旧山陽道の古い峠です。峠の西10mに大山清水も残り、ここに憩亭があったとか、峠の東400mにも参勤交代で使った大山駅の跡があるとか、歴史的な峠であることが看板に書かれています。

峠から東に500mで西条バイパスにぶつかります。ぶつかった場所はトンネルで、車道が国道486号に繋がります。西条バイパス沿いに1km東に辿り、歩道橋三つ目を渡って北に500mで八本松駅に帰れます。三つ目の歩道橋から南に200m上り返せば最初の尾根に戻ることができます。道標が導いてくれます。自家用車を登山口に置いて周回もできます。二つ目の歩道橋手前の瀧の谷馬頭神社（写真6）は小さな神社ですが必見です。

行程

八本松駅→15分→登山口→60分→本丸跡→15分→曾場ヶ城山頂上→30分→大山峠→30分→八本松駅（登山口）
所要時間 2時間30分

（まつしま ひろし）



写真4: 本丸への矢竹のトンネル



写真5: 頂上から南方面 左から野呂山、小田山、灰ヶ峰



写真6: 瀧の谷馬頭神社